

## ネットワーク工学(第2版) 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2023年4月12日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正														
1,2,3	ii	1行目	1880年に…	1890年に…														
1,2,3,4,5	29	2行目	米国 TIA/EIA-568(4.4 節参照)では, カテゴリー5e(5.3 節参照)…	米国 TIA/EIA-568(3.4 節参照)では, カテゴリー5e(5.5 節参照)…														
1	54	6行目	…2009年に制定された.	…2009年に, <b>その拡張版である 802.11ac が 2014年に制定された. 1Gbps 以上の高速化が実現されており, 製品は常に最新の規格で販売されている.</b>														
1	54	表 4.2	(右に1列追加, 802.11n の変調方式を変更)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>IEEE802.11n</th> <th>IEEE802.11ac</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.4/5GHz 帯</td> <td><b>5GHz 帯</b></td> </tr> <tr> <td>2 (2.4GHz 帯) /9 (5GHz 帯)</td> <td><b>19 (20MHz 帯域) /2 (160MHz)</b></td> </tr> <tr> <td>OFDM</td> <td><b>OFDM</b></td> </tr> <tr> <td><b>64QAM (最高速)</b></td> <td><b>256QAM (最高速)</b></td> </tr> <tr> <td>600Mbps</td> <td><b>6.9Gbps</b></td> </tr> <tr> <td>2009年</td> <td><b>2014年</b></td> </tr> </tbody> </table>	IEEE802.11n	IEEE802.11ac	2.4/5GHz 帯	<b>5GHz 帯</b>	2 (2.4GHz 帯) /9 (5GHz 帯)	<b>19 (20MHz 帯域) /2 (160MHz)</b>	OFDM	<b>OFDM</b>	<b>64QAM (最高速)</b>	<b>256QAM (最高速)</b>	600Mbps	<b>6.9Gbps</b>	2009年	<b>2014年</b>
IEEE802.11n	IEEE802.11ac																	
2.4/5GHz 帯	<b>5GHz 帯</b>																	
2 (2.4GHz 帯) /9 (5GHz 帯)	<b>19 (20MHz 帯域) /2 (160MHz)</b>																	
OFDM	<b>OFDM</b>																	
<b>64QAM (最高速)</b>	<b>256QAM (最高速)</b>																	
600Mbps	<b>6.9Gbps</b>																	
2009年	<b>2014年</b>																	
1	56	16行目下	16行目の後に右を挿入	<p>802.11n では, 4×4 ストリームが実現できる.</p> <p>2014年には, 最大6.9Gbpsが伝送可能な802.11acが制定された. 802.11nと同様, 5GHz帯を利用し, 1チャンネル当りの利用帯域を160MHzまで拡大可能として, さらに256QAM, 8×8ストリームMIMOなどの採用により約10倍の伝送速度を可能とした. 現実の製品では1Gbpsが実現されている.</p>														
1	71	下から5~4行目	…するとき, VLANを区別する <u>必要から</u> フレームに荷札(タグ: tag)を付ける. …	…するとき, <b>トランクポート間に接続されたトランクリンクではタグ付きMACフレームを転送する. タグ付きMACフレームとは, VLANを区別するためフレームに荷札(タグ: tag)を付けたものである. …</b>														

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	71	下から 2行目	…にはタグを付け、…	…には <b>トランクポート</b> にてタグを付け、…
1,2	72	図 5.9	右のように修正	
1,2,3	74	図 5.11(b) 図下部	■：無名ポート…	■：指名ポート…
1	77	表 5.9	最下行に右を追加	カテゴリー7    クラス F    600MHz    10GBASE-T    10Gbps    4 対
1	78	1行目	…1000BASE-Tにはその改良ケーブルであるカテゴリー…	…1000BASE-Tには <b>性能改善したカテゴリー</b> …
1	78	2行目	…の意味) が用いられる。現在、カテゴリー6のケーブルまでが標準化されている。表 5.9…	…の意味) が、さらに <b>10GBASE-X</b> には周波数 <b>600MHz</b> まで性能規定した <b>カテゴリー7</b> が用いられる。表 5.9…
1,2	92	図 6.11 NW5	NW5 1.1.1.0	NW5 1.1.5.0
1,2	92	図 6.11 ルータ 1 の 経路表 1行目	出力ポート      次のホップ 1.1.1.1            1.1.1.2	出力ポート      次のホップ 1.1.1.2            1.1.1.1
1,2	92	図 6.11 ルータ 3 の 経路表 1行目	次のホップ 1.1.5.2	次のホップ 1.1.5.1
1	122	10行目	…の情報をルート・ネームサーバが…	…の情報を <b>13 系列の (2015 年 10 月現在)</b> ルート・ネームサーバが…

該当刷数	頁	行数など	誤	正																								
1	122 ～ 123	11行目 ～ 1行目	…ドメインが存在する。トップレベル・ドメインは、七つの一般ドメインと、数百の国ドメインからなる。一般ドメインの内容を、表 9.1 に示す。一般ドメインは、3文字で表され、このうち“gov”と“mil”のみは米国政府に適用される。それ以外の一般ドメインは米国以外の組織でも利用できる。国ドメインは…	…ドメイン (TLD : top level domain) が存在する。 トップレベル・ドメインは、一般ドメイン (gTLD : generic TLD) と、数百の国ドメイン (ccTLD : country code TLD) からなる。一般ドメインは、当初“.com”や“.net”など7つであったが、2001年には“.info”、“.biz”など7つが、2003-2004年にはさらに8つが追加された。2012年には、募集要項に適合する申請は新設を認定するという処置にした結果、145の新ドメインが誕生した。主な一般ドメインを表 9.1 に示す。国ドメインは…																								
1	122	図 9.1	右図のように修正																									
1	122	表 9.1	表 9.1 一般ドメインの内容	表 9.1 主な一般ドメインの内容																								
1,2,3	137	図 10.4(a)	右図の赤字のように修正	<p>TPID : tag protocol identifier (タグプロトコル識別子) TCI : tag control information (タグ制御情報) PCP : priority code point (優先度符号) I-SID : backbone service instance identifier (プロバイダ基幹ネットワークにおけるユーザ識別番号)</p> <p>ユーザネットワークでの MAC フレーム</p> <table border="1"> <tr><td>6 バイト</td><td>C-DA (ユーザ宛先アドレス)</td></tr> <tr><td>6 バイト</td><td>C-SA (ユーザ発信元アドレス)</td></tr> <tr><td>4 バイト</td><td>C-TAG (ユーザタグ)   TPID   TCI</td></tr> <tr><td>2 バイト</td><td>長さ/タイプ</td></tr> <tr><td>46-1500 バイト</td><td>データ</td></tr> <tr><td>4 バイト</td><td>FCS</td></tr> </table> <p>プロバイダ基幹ネットワークでの MAC フレーム</p> <table border="1"> <tr><td>6 バイト</td><td>B-DA (ネット宛先アドレス)</td></tr> <tr><td>6 バイト</td><td>B-SA (ネット発信元アドレス)</td></tr> <tr><td>4 バイト</td><td>B-TAG (ネットタグ)   TPID   TCI</td></tr> <tr><td>6 バイト</td><td>I-TAG (ネット識別タグ)   TPID   PCP   I-SID</td></tr> <tr><td colspan="2">ユーザ MAC フレーム</td></tr> <tr><td colspan="2">FCS</td></tr> </table> <p>フレームの先頭 フレームの方向 フレームの終端</p> <p>64~1518 50-1526 追加(青矢印) HL</p>	6 バイト	C-DA (ユーザ宛先アドレス)	6 バイト	C-SA (ユーザ発信元アドレス)	4 バイト	C-TAG (ユーザタグ)   TPID   TCI	2 バイト	長さ/タイプ	46-1500 バイト	データ	4 バイト	FCS	6 バイト	B-DA (ネット宛先アドレス)	6 バイト	B-SA (ネット発信元アドレス)	4 バイト	B-TAG (ネットタグ)   TPID   TCI	6 バイト	I-TAG (ネット識別タグ)   TPID   PCP   I-SID	ユーザ MAC フレーム		FCS	
6 バイト	C-DA (ユーザ宛先アドレス)																											
6 バイト	C-SA (ユーザ発信元アドレス)																											
4 バイト	C-TAG (ユーザタグ)   TPID   TCI																											
2 バイト	長さ/タイプ																											
46-1500 バイト	データ																											
4 バイト	FCS																											
6 バイト	B-DA (ネット宛先アドレス)																											
6 バイト	B-SA (ネット発信元アドレス)																											
4 バイト	B-TAG (ネットタグ)   TPID   TCI																											
6 バイト	I-TAG (ネット識別タグ)   TPID   PCP   I-SID																											
ユーザ MAC フレーム																												
FCS																												
1	161	6.4 左列の 6 行目	…01000100b=48	…01000100b=68																								

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	161	6.4 右列の 5 行目	…0100000b=64…	…0100000 <b>0</b> b=64…
1,2	161	解表 3 ルータ 1 の 経路表 1 行目	次のホップ 1.1.1.2	次のホップ 1.1.1.1
1,2	161	解表 3 ルータ 3 の 経路表 下から 2 行目	1.1.5.2    1.1.5.2    1	1.1.5.2    1.1.5.1    1